

長浜南小学校からの報告

活動団体名： 長浜南小学校水生生物クラブ

活動人数： 16人（教員2名）

取組時間： クラブの時間

調査内容 1回目：6月20日（火）五井戸川支流  2回目：6月27日（火）五井戸川支流 
3回目：10月17日（火）五井戸川支流 

4年生以上のクラブ活動として行っている。希望して入ってくる子どもたちなので、魚やザリガニをつかむことが好きな子や川や自然に興味がある子どもばかりである。クラブの時間（45分間）に行って帰って来なければいけないので、徒歩で行けるのは学校近くの2か所の河川である。土手の草刈りがされているので川に入りやすく、水量はさほど多くなく安全に調査活動ができた。今年も毎回暑い時期で天候にも恵まれたので、子どもたちはサンダルで喜んで川に入り、たもやステンレスの金網で水生生物を探した。子どもたちにとっては、調査というより魚つかみになっている面もあるが、水草の下や川底を金網ですくい取り、水面に上げたときに何か動くものを見つけると大喜びであり、その名前を知りたいという気持ちは強い。4人グループで活動し、見つけた生物を白色のトレイに移すと、他のグループの子も見に来て、「これは何？」「これは、〇〇。」と交流したり、環境保全課でもらった下敷きに載っている水生生物の写真と見比べたりしている子もいた。



調査員の感想

- 川はつながっていながらも、水生生物がたくさんいるところやあまりいないところがあっておもしろいなと思いました。
- あみやザルですくって、いろんな水生生物を見つけることができました。川の中にはたくさんの水生生物がいることがわかりました。それぞれの水生生物に特徴があって、細かったり太かったり、大きさも色々で驚きました。

捕まえた生き物たち

コオイムシ、スジエビ、ドジョウ、ドンコ、アメリカザリガニ、ヤゴ、タイコウチ、カワナ、イトミミズ、サカマキガイ

調査のまとめ

指標生物ではないものが多く、毎回見つけられるのは、スジエビやアメリカザリガニ、ドジョウ、イトミミズなどであった。あまり馴染みのないタイコウチやコオイムシなどがとれると子どもたちが集まって観察したが、名前のわからない小さな生物も多い。五井戸川支流は臭いもなく見た目はきれいな川に見えるが、調査の結果ではややきたない水の川であった。サワガニが住めるような川になることを期待しているが、水草が減ったことや水田とつながっている川で季節により水深が大きく変わることなど、環境との関りが大きいと感じる。水質や流れの速さ等の調査は、時間の関係で担当教諭が行っていることが多いが、今後は子どもたちが水質の検査をする機会も増やしていきたいと考える。





活動の様子

【活動の様子1】



【活動の様子2】



【活動の様子3】



【水生生物クラブのメンバー】



【大きなドンコ】



【魚もとれました】



【すくい網で】



【たくさんのザリガニ】



【ヤゴ】



【タイコウチとエビ】



【貝もとれました】

